

今日のわだい

新年号(12月・1月合併号)です。
表紙はカラー
見開きになっています。

全厚労ニュース

全国
厚生連 労働組合連合会
〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月20日 定価 30円
<http://www.zenkouro.org/>

2018年春 委員長・書記長から あけましておめでとうございます

新年の幕開けに、全厚労及び各県の委員長・書記長に「今年の抱負」をアピールして頂きました。
全国津々浦々に存在する厚生連の仲間と団結し、本年も有意義な年となるよう頑張っていきましょう。
今年も全厚労ニュースをよろしくお願ひ致します。

※都合、委員長や書記長でない県もあります。



後藤 充 市川寛己
委員長 書記長
(医師) (事務)



川上典孝 斎藤文子
書記長 委員長
(放射線技師) (看護師)



奥井明子 中村 悟
書記長 委員長
(専従) (看護師)



吉滝和彦 浦田孝之
委員長 書記長
(放射線技師) (検査技師)



大平雅浩 和田祐輔
書記長 委員長
(事務) (専従)



斉藤美晴 阿部恵美
委員長 書記長
(看護師) (看護助手)



松尾 晃 畑中剛喜
書記長 委員長
(専従) (専従)



大塚 温 関谷幸夫
委員長 書記長
(専従) (専従)



宇留野正志 美野輪智博
書記長 委員長
(看護師) (事務)



花澤直樹 堀川 毅
書記長 副委員長
(専従) (臨床工学技士)



中野 綾 大島賢治 中村 優
委員長 副執行委員長 書記長
(看護師) (放射線技師) (看護師)



杉山宗平 寺本宗正
書記長 委員長
(検査技師) (放射線技師)



畑中剛喜 森 仁志
委員長 書記長
(専従) (理学療法士)



土一嘉久 斯波貴弘 鈴木 清
副委員長 委員長 副委員長
(看護師) (看護師) (理学療法士)



中村 敬 鈴木幸弘
書記長 委員長
(社会福祉士) (放射線技師)



岩本一宏 近村勝也
委員長 書記長
(放射線技師) (検査技師)



小田啓義 藤井理志
書記長 委員長
(事務) (放射線技師)



榎口浩之 大栗 陽
書記長 委員長
(看護師) (作業療法士)



友枝諭志
書記長
(看護師)



杉内法子 由比智一
書記長 委員長
(看護師) (看護師)

医療研究集会 in 土浦

参加者インタビュー

4つの分科会毎に参加者にインタビューしましたので紹介します。

第1分科会

職種を超えた話し合いの大切さ

長厚労 松村卓広 (北信・臨床工学技士)



普段は病院で臨床工学技士として、医療機器の整備や操作を行っていましたが、朝から仕事に追われ、他県の厚生連が解散してしまうことや、社会保障制度について考えたことは、これまでほとんどありませんでした。しかし、集会では今日の厚生連の状況、各労組の取り組みについて知ることができ、大変学ぶことが多かった3日間だったと思います。また職種を超えて、話して声を上げることの大切さに気が付きました。第1分科会で出会った方々にはありがとうございます。大変感謝しています。

第2分科会

優しい目の持ち主との出会いに感謝

徳厚労 野口加代子 (阿波・看護師)



私は、今年も目新しい喜怒哀楽を多々経験しました。経験は力なりとか。この世には修行に来ているのだから……。くじ引きで大当たりした組合役員の副執行委員長、そのおかげで優しい目の持ち主との出会いが広がっています。

目立たず無口を心がけているのですが、いつもブレイキ故障。

第34回全厚労医療研究会集会のテーマ「しのびよる医療の危機『赤字宣伝』」に「なんとかならないぞ!」と、2日目の分科会「本来の仕事がしたい」に興味津々となり、たくさんの方々のお世話になり参加しました。

今の政策思想は「命よりお金」、首謀者は財界実行者は政府とか、根っこが深すぎ。数回の徳厚労での事務折衝・団交にて私の職場は99%くらい?、1病棟化路線でしたが再検討され2病棟の存続となり、包括ケア病

棟の増床となります。「加代子、出張から帰ってきたらな、母ちゃんをつけて行ってきなよ」と私をいつも応援してくれた母、私が出張帰省後6時間過ぎの午前5時2分、優しい目を持つ同僚・私・携帯からの娘の声中、永眠しました。前日は体動後の呼吸苦の中、私の帰りを心待ちにして

いたとか。「加代子が植えたん?」屋上ガーデンに今も花仲間と二人で植えた宿根草のアメジストセージの花が風にゆれています。優しい目を持つ母さんの娘になれて感謝します。

第3分科会

地域に信頼される病院に

長厚労 菊池環さん (佐久・薬剤師)



参加するのは今年で3回目。今までは2日目で帰らなくてはいけなかったりと、最後までいるの

は今回が初めて。「住民のつどい」は初の試みと聞いて、最終日まで参加できて良かった。今回は茨城の秋闘のこととあって参加を決めた。茨城の賃金闘争のことは長野でも、茨厚労の美野輪執行委員長が講演をしてくれてくれたことがあり知っていたが、今

回集会や分科会で実際どういった過程で闘争を行なったか知ることが出来て良かった。半日ストを

実際にやったと聞いて、「うちでは出来ないかなあ」と思ってしまった。みんな協力してあれだけの行動が起こせるのはすごいと思う。また地域と一体となって活動したこと、住民に

若い世代にもっと参加を

広厚労 田邊将寛 (尾道・理学療法士)



地域と医療について他県の活動内容を報告して頂いたことが一番印象に残りました。他者との交流の機会を持ちながら厚生連医療の原点を理解し、自分たちの今後の活動に活かしていきたいと思っています。土浦協同病院の視察では、リハビリ室、整形病棟、救急の見学をさせて頂きました。iPhoneを

信頼されるよう活動することは、病院がいざとなつたとき自分達の助けになるんじゃないかなと思つた。自分達も住民との関わりをもっと作っていかなくてはいけない。病院が大きくなればなるほど住民との関わりは疎になってしまふのかも。しれないが、その中でも関わりをもっと、信頼さ

れる病院になつていかなければならないと思う。自分の病院も医療センターになつてから地域と少し疎遠になつてしまつているが、盆踊りで模擬店を出したり最近も秋祭りに参加したりと、地域と関わりを持つことに努力している。この活動をこれからも継続していきたい。

使った患者管理、HAI訓練室など最新設備に驚きました。レストランがホテル仕様であり落ち着いた雰囲気です。ゆつくりと食事ができましたが、職員定食900円は高いかなと感じました。医療研究集会では、分科会がコミュニケーションを取りやすい環境だと思っていました。ツールと

してダンスなど一体感が生まれる行事もあり、楽しい時間が過ごせました。しかしダンスなど苦手な方もおられ実施するにあたり希望を募るなどの運営方法を再度見直すこともいいのではないかと感じました。個人としては青年世代に参加して欲しいと思つている人が多い中で、青年世代の学習の場になると思っています。まずは自県に持ち帰り伝達講習していきたいと思っています。

【前号の訂正とお詫び】

前号(452号)3面の幹部・看護師集会のインタビュー記事、第2分科会の佐藤さんのお名前と所属支部が間違っていました。正しくは、佐藤友香さん(茨厚労水戸支部)でした。ここに訂正して関係者の皆様にお詫びいたします。

病院と地域を結ぶ 新春企画 「住民の会」結成にむけて



つどいででの土浦協同病院「我がまま教室」有志のみなさんによるダンスオープニング

「住民のつどい」ふりかえって

11月に「地域医療を考える住民のつどいin土浦」を約160名で成功させ、次なるステップへ進む茨城の「地域医療を考える会」準備会にお邪魔し、地域住民の患者・病院職員の生の声を聞いてきました。つどいの会場となった土浦で開かれた準備会の様子を一部抜粋し、全国に数多く存在する「住民の会」新たな結成の瞬間を、全厚労二ユーエス読者のみなさんと共有できればと思います。

柳澤さん(土浦住民)「オリーブニングでの我がまま教室のダンスは良かったね。よく見たら現役時代に一緒に働いていた人もいたような…(笑)」
海老沢さん(茨厚労・看護)「つどいにはうちの眼科の先生も来てくれた。後日病院で『住民のつどいに参加してすご良かったよ。地域で働く労働者としての活動がよく分かった』と言ってく



忌憚ない意見には笑いも

安本さん「当日配布したアンケートでは住民の会の世話人(会員)に『なりませう』29名、『検討する』も21名もいらっしやう。世話人会で核になる人を増やしながら、活動の幅をひろげていきたいですネ」
大瀧さん(住民)「全国では地域運動を進めた実績が多くあるが、病院廃止など差し迫った問題のもと

れた。地域の人の声があるから病院が成り立つて職場が成り立つというのを発信していきたい。ほかの地域でも、つどい開催を計画してもらいたい」
齊藤さん(茨厚労・保健師)「うちの病院からも師長をはじめ沢山来てくれた。つどいに参加された住民の方は地域医療に関心があるが、職場ではまだ『仕事とは関係ない』といった意識が強い」
福田洋子さん(元職員・患者)「来れなかった人にパンフレットをあげたら『参加したかった』という人もいて、大きな集会以外でいいので20、30人くらいで医療現場と住民とで話し合いができ

学習もとりいれ地域に広げる

安本さん「当日配布したアンケートでは住民の会の世話人(会員)に『なりませう』29名、『検討する』も21名もいらっしやう。世話人会で核になる人を増やしながら、活動の幅をひろげていきたいですネ」
大瀧さん(住民)「全国では地域運動を進めた実績が多くあるが、病院廃止など差し迫った問題のもと

で行なわれていることが多い。幸い私たちは、協同病院の経営難ということで集まったが、学習し病院のことや地域医療についてじっくり考えられる恵まれた環境にある」
美野輪さん(茨厚労・医療事務)「自分達の意見を政策決定などに盛り込んでもらうには、住民とひざを突き合わせて話す場所が必要。自分達の感じていること、困っていることを率直に出し合い

たい。診療報酬のことだったら自分はプロなので(一同笑い)『診療明細断ると100円もどるよ』など耳よりで身近な所から入っていく、地域でこんなことが問題になっていくといった話もできるのでは」
福田勝夫さん(住民)「たしかに先日、検査で病院に行つて会計が高額でビックリした。会計を待ちながら観察していると、診療の会計だけ済ませて、お金を気にして薬をもらわずに帰ってしまう患者さんも結構いるんだよ」
海老沢さん「お金がないと病院にかかれないうし、病院でみてもらえないなら死ぬしかない…これは、みんなが『ダメよ』といわなきゃいけないね」
安本さん「美野輪さんの『賢い病院の掛かり方』から、病院がお金をとっているのではなく、医療制度でそうになっている、という学習につなげていければいいですね。それと『大変、大変』と言うけれど何が大変なのか、医師不足はどれくらいなのか、現状を知らせていくことも大切」
藤田さん(茨厚労専従)「毎月でも隔月でも、こうして集まって、ちよっとしたミニ学習も



運動へつなげるにはまず対話から

「地域医療を考える会」準備会はその後も、秋田での住民運動の取り組みを参考にしながら内容を深め、次回開催日程(2018年2月10日)を決め終了しました。
住民・患者の目線からみた意見と、医療従事者からの意見が混ざり、新たな発展に繋がる会となりました。今後も、学習を深めながら話し合い、要求を小さな輪から大きな輪に広げていく活動が期待されます。



総勢13名での準備会となりました

員さんも多く来てくれた。病院移転後、足の確保が難しくなり足が遠退いてしまったなどの問題に対しては、自治体・行政へ要請していく必要がある。茨城協同運動連絡会の運動としても、取り組んでいけるのではないかと

「会場からの住民の率直な発言に対し、コーディネーターが病院からの意見も取り入れ、うまくまとめられたのが良かった」
安本さん(茨厚労専従)「茨城は医師も看護師数も下から何番目…という所で自分たちだけでなく、どう暮らしやすい地域にしていくか。つどいには市議会議員さんや県会議

ればいいなと思う。つどい後に病院へ行ったらなんだか病院の職員さんたちと親しみが持てて…繋がりがあるという場があるといいね」
古沢さん(住民)「会場からの住民の率直な発言に対し、コーディネーターが病院からの意見も取り入れ、うまくまとめられたのが良かった」
安本さん(茨厚労専従)「茨城は医師も看護師数も下から何番目…という所で自分たちだけでなく、どう暮らしやすい地域にしていくか。つどいには市議会議員さんや県会議

員さんも多く来てくれた。病院移転後、足の確保が難しくなり足が遠退いてしまったなどの問題に対しては、自治体・行政へ要請していく必要がある。茨城協同運動連絡会の運動としても、取り組んでいけるのではないかと

たい。診療報酬のことだったら自分はプロなので(一同笑い)『診療明細断ると100円もどるよ』など耳よりで身近な所から入っていく、地域でこんなことが問題になっていくといった話もできるのでは」
福田勝夫さん(住民)「たしかに先日、検査で病院に行つて会計が高額でビックリした。会計を待ちながら観察していると、診療の会計だけ済ませて、お金を気にして薬をもらわずに帰ってしまう患者さんも結構いるんだよ」
海老沢さん「お金がないと病院にかかれないうし、病院でみてもらえないなら死ぬしかない…これは、みんなが『ダメよ』といわなきゃいけないね」
安本さん「美野輪さんの『賢い病院の掛かり方』から、病院がお金をとっているのではなく、医療制度でそうになっている、という学習につなげていければいいですね。それと『大変、大変』と言うけれど何が大変なのか、医師不足はどれくらいなのか、現状を知らせていくことも大切」
藤田さん(茨厚労専従)「毎月でも隔月でも、こうして集まって、ちよっとしたミニ学習も

「地域医療を考える会」準備会はその後も、秋田での住民運動の取り組みを参考にしながら内容を深め、次回開催日程(2018年2月10日)を決め終了しました。
住民・患者の目線からみた意見と、医療従事者からの意見が混ざり、新たな発展に繋がる会となりました。今後も、学習を深めながら話し合い、要求を小さな輪から大きな輪に広げていく活動が期待されます。

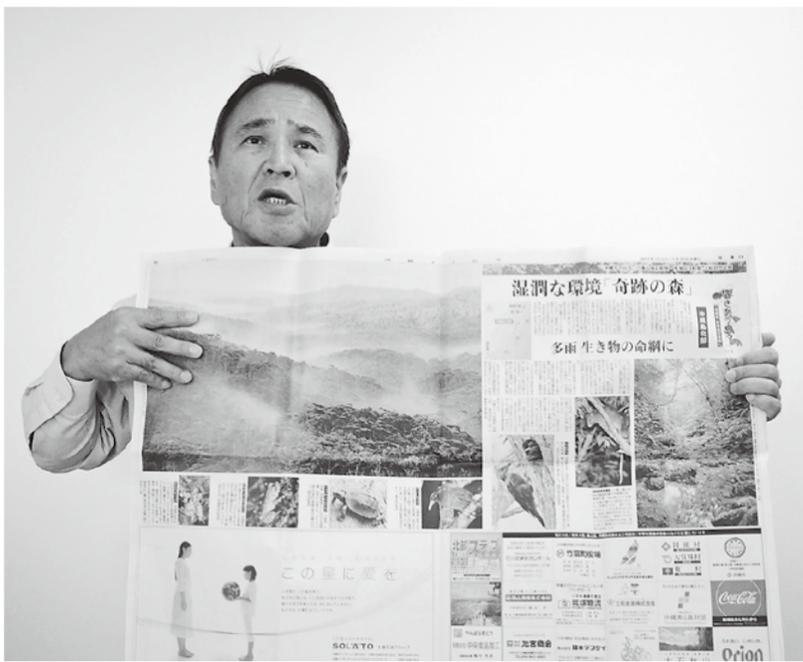
新春インタビュー

高江の森の破壊こそ犯罪だ 反基地は戦争を止める闘い

— 山城博治・沖縄平和運動センター議長

沖縄平和運動センターの山城博治議長に、反基地闘争の現状を聞こうと11月23日、都内で共同インタビューが行われました。記者らでつくる日本ジャーナリスト会議と労組などの機関紙関係者による企画です。

「私が罪に問われたのは、建設。山城議長らが高江の森に入って抗議しようとしたら、針金2本の切断（器物損壊容疑）など。一方で、急ピッチで工事が進められた米軍用ヘリパッド



やんばる（沖縄本島北部）の豊かな自然を紹介しながら、ヘリパッド建設の不当性を語る山城さん

「そもそも、あの山に手をつけるのは許されない。神聖な森であり、ヤンバルクイナやノグチゲラなど貴重な動植物が生息する場所。それを壊すことこそ犯罪であり、問われべきは国家の暴力だ」



辺野古ゲート前。雨の中、座り込む市民

沖縄は最前線

山城議長は、逃亡や証拠隠滅の恐れがないにもかかわらず、5カ月間勾留されました。保釈された現在も、反基地の活動家らとの接触が制限され、外泊にも裁判所の許可が必要な「監視下」にあるといえます。

「今抵抗をやめたら戦争が来る。東京からは見えにくいかもしれないが、沖縄は今、（中国や北朝鮮をにらんだ）最前線であり、一触即発の状況にあると感じる」

際には、自衛隊員による日本版海兵隊が配置される計画だと指摘します。いったん戦争が始まれば、沖縄は再び戦場になってしまう、だから戦争

につながる軍備増強に抵抗するのだという考えです。武力ではなく「あくまで平和外交の努力をすべきだ」と力説しました。

沖縄で感じて欲しい

辺野古現地の座り込みについては「学生や労組の動員はない。年金生活者や普通の市民が中心。

歌あり踊りありで、一人ひとりと交流しながら楽しんで闘っている」といいます。「しなやかに、緩やかに、時に毅然（きぜん）と」をモットーにしているのが沖縄の闘いの強みだといえます。県外の人々に対しては「短時間でもいいから現地に来てほしい」と呼び掛けました。

ほっと一息 感謝!! リフレッシュ休暇

山口には公休2日、特休2日、年休5日を合わせて最高9連休を取得できるリフレッシュ休暇制度があります。年に一度取得でき、9日も休みがいない人は5連休から9連休の間で変更できます。

私は毎年1回家族で旅行に行きます。今年は夏休みにディズニーランドに行きました。思い出深いのは3泊4日で冬に行った北海道です。4日間、現実を忘れ山口では見ることのできない雪、氷に覆われた雄大な自然を堪能することができました。

普通の勤務ではまず4日も連休を取得することはできませんし、何より旅行には荷造り、帰ってからの片付けという大仕事も必要です。でも9連休のおかげで、ゆっくり家族の荷物を準備し、帰ってからも誰もがこの山のような洗濯物を洗うのか?!と喧嘩??することもなく片付けることができ助かります。

リフレッシュ休暇があることで仕事のモチベーションも上がり、年休も消化でき、本当に素晴らしい制度です。組合のおかげでできたこの制度、組合に感謝!!です。

山厚労小郡第一支部 成清 裕美



家族と行った北海道旅行にて

具体的な改善に繋がる施策を

17秋闘・厚生労働省交渉

11月8日午後、農水省交渉に引き続き、秋の厚生労働省交渉を役員・組合員など18名で実施。地域医療の確保や医療従事者の労働環境改善など4つの柱でやりとりを行いました。

医師の長時間・過重労働対策を

地域医療構想について、厚労省は「地域全体での合



現場の具体的な実態を訴え要望

意で自主性を持って行うもの」と回答、県が自主的に決めると言う一方で、「ガイドラインにそって策定してもらっている」と発言しました。交渉団は、「実際には県は機械的に削減している」「地域では医療過疎が生じてしまうのではとの懸念が生まれている」「地域医療構想自体に無理があるのではないか」と訴えました。また「介護の受け皿などが整わない中で、ベッド削減が先行しないよう」などと強く求めました。

医療従事者の真の「働き方改革」を

厚労省は、医療従事者の労働条件についての法規制は、「現時点では考えていない」と回答。交渉団は、「新ガイドライン」など通達は

出されているが、結局のところ、「罰則」がなく、努力義務とされているところ、改善が「先送り」や「意図的な無視」に繋がっている。監督業務を推進すると言っても、担当官の圧倒的不足の中では、何十年もかかる課題、罰則があれば「抑止力」が働くと思えます。

長期間を見据えた診療報酬制度に

腰痛対策では、「今年度からは腰痛対策の実地研修に取り組んでいる」、「助成金では、健康作り制度として業種問わず行っている」などと回答しましたが、助成されるのは「就業規則変更のための社労士の費用」だったりと、現場の要求にそぐわず、もっと具体的に「物品（コルセットやスライディングシート）」に適用できるように検討して欲しいと訴えました。

交渉団からは、「看護の質の向上」に資するものは

きちんと評価して欲しいと要望。また診療報酬制度についても、2年毎に改定を繰り返すのではなく、賃金・労働条件に直結する部分については、10数年先を見据えて安定的な体系にしてもらいたいと強く要望しました。

厚労省は、「改定に伴う現場の負担等は理解できる」としながら、医療従事者の働き方について、診療報酬の問題だけでなく、労働系ともコラボしながら取り組む必要があるとの認識を示しました。

特定行為問題については、現時点で研修終了者が583名と進んでいない実態も報告され、平成31年度とされる制度見直しの際には、現場の意見も踏まえて欲しいと要請しました。合わせて、厚労省として（正しい）

病院薬剤師の新たな調査に取り組み

病院薬剤師問題では、2

職員を大切にしてください

6年ぶりに農水省へ要請

全厚労は11月8日午前、6年ぶりとなる農林水産省との懇談を行いました。農水省からは経営局協同組織課の前田俊範調整官ほか2名の担当者が対応し、厚生連病院をめぐる問題について1時間程度やりとりしました。



6年ぶりに農水省を訪れる

今年度の要請項目は、厚生連や巨額投資されている厚生連経営に関わる農協法の2つの規制、「固定比率」の100%達成と、農協組合員以外の利用を制限する「員外利用率」の適用除外など。また「固定比率」は、一つの指標であり、一時的に基準を割り込むことは許容しているし、段階的に回復できるようにきめ細かく計画がなされているのかを見るだけで、「固定比率確保」のために、人件費を抑えることや長期借入でやれとは言っていない、むしろ「職員を大切にす

「固定比率」は、一つの指標であり、一時的に基準を割り込むことは許容しているし、段階的に回復できるようにきめ細かく計画がなされているのかを見るだけで、「固定比率確保」のために、人件費を抑えることや長期借入でやれとは言っていない、むしろ「職員を大切にす

について、厚労省はこれまでの処遇改善加算を評価し、引き続き進めていきたいと発言をしましたが、交渉団からは、「加算は離職防止に繋がっていない。賃金底上げになっていない。介護職のイメージ回復は、他産業並みに賃金を引き上げるしかない」などと訴えて、抜本的な確保対策を求めました。



まっぴり特報 2018 小菅りや子

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第127回は秋田と神奈川にお願いしました。



秋田 日和憲樹さん

秋田からはこの人を紹介します。秋厚労由利支部執行委員長の日和憲樹さんです。現在の由利支部は秋厚労でも数少ない500人を超える組合です。当組合の執行委員は2年の輪番制を導入しており、今は日和さんを先頭に執行委員のルール作りを行っています。

執行委員長として多くの組合員の前で挨拶等もあると思いますが、彼自身のスキルアップに繋がってれば嬉しいです。

他にもプライベートではマラソン大会やトレイル大会にも参加し、来年度は東北3県のトレイル大会に参加する予定でいるそうです。

今後も益々、組合活動もプライベートも充実していただければ幸いです。

神奈川からは、財政部長の磯村裕己さんを紹介しします。

磯村さんは、健康管理巡回健診で働いていた時、最高で月100時間を超える残業もあってメンタルヘルス不全で2年半休職。労基署に駆け込んだこともあってパワハラも感じて、組合に戻ってきたのが一昨年の11月。

労災性の疾病ではないかということで組合で交渉し、解雇しないことと完全な仕事復帰をめざし労使で協力することを約束させました。今年の4月からは業務替えしてもらい、新しい職場で頑張っています。運転技術が抜群で、会計専門学校に通った変わりダネです。



神奈川 磯村裕己さん

読者の声

今年から組合の係りになりました。二コースを目にする機会をもち、いろいろな人が活動している事が分かりました。皆の為に私も働きます。(愛知)

日々の業務と組合の仕事もとなると大変なこと多々あるかと思いますが、組合活動は決して無駄にはなりませんので、共に頑張りましょう！(SN)

自分の不注意で骨折してしまい、自宅療養中です。同僚のみんなから「今まで頑張ってきたのだから休め」といつかだから休んで休んでと温かい言葉を頂いて休んでいきます。早く仕事がしたい。(秋田)

僕も整形の手術をして、仕事休んでいるときがありました。復帰したときの「仕事ってこんなに楽しいんか」という感覚感じてください。周りの人のありがたみが分かりますね！(TM)

与党が今回の選挙で3分の2以上の議席を獲得し、また一党独裁が出来てしまう状況になってしまつた。消費税増税は仕方の無いことだと思いつく、使い道について方向が変わり、子育て支援に力を入れるのはいいと思います。ただ、将来に對してのツケをまわさないで欲しい。(富山)

今回の選挙により、我が国の進むべき道がますます危うくなつていくような気がします。本来、消費税増税は医療福祉のために使われる予定だったはず!!選挙のために子育て支援にすりかえられてしまったのでは...?さらに、2/3以上の決議で憲法改正も可能になつてしまふ...。我が国は、どこに向かっているのでしょうか？(SZ)

先日の選挙では、自民党の勝利で終わりました。憲法改正や消費税増税など不安ですが、政治に感心を持ち、「おかしー!」と思う時には声をあげていきたいです。(長野)

声を上げる、投票に行く等、相手に伝わるように行動することが大切です。(YS)

茨厚労特製紙芝居を活用しよう

茨厚労の作成した医労連共済説明紙芝居を紹介します。共済について、12ページに分かりやすくまとめられた紙芝居です。どの組織でも使えるように工夫されていて、カラフルな絵や、分かりやすい解説を含めた読み手の文章になっています。

2017年度共済推進全国交流集会でも、全国様々な組織から、自分の組織でも活用したいとの声がたくさん上がり、医労連共済HPからダウンロードできるようになっています。全厚労本部にもありますのでお問い合わせ下さい。

共済は医労連が組合員のために運営する助け合い運動です!



紙芝居の中の1ページを紹介します

もともと労働組合は、労働者が病気で働けなくなったとき、仲間がお金を出し合って、助け合ったのがはじまりです。その仲間同士の助け合いを制度化したのが「共済」です。

読者の声もお待ちしています

クロスワードの投稿だけでもOK

QRコードを読み取って、投稿サイトにアクセスするか、以下のメールアドレスに空メールを送って下さい。

kikasete@zenkouro.org

質問フォームに、必要事項を記入して送信して下さい。氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。投稿数に応じてポイントが貯まります。投稿締切 投稿・パズルとも2月末まで。

教宣部の つぶやき

我が家のアイドル 2歳のトイプードルがいます。2年前、ふと立ち寄ったペットショップにて抱かせてもらい「手放したくない」と強い思いを抱き、即決購入。初めは不安いっぱいの表情で静かでしたが、今ではとっても活発な男の子。仕事から帰ってくる時、満面の笑みで飛び出してくれます。時には夫婦喧嘩の仲裁役もしてくれまして。たまに脱走もします(笑) なくてはならない存在。来年は成年、これからも元気に走りまわってね!! (SN)

2018 いぬ年 連想 クロスワード

【問題】 二重ワクの文字をA~Gの順番に並べた文章から連想できる二つの言葉は何? 作/モロズミ勝

1		2	3		4	5	6
7		8		9		10	11
	12		13		14	15	
16		17		18		19	20
21		22		23		24	25
26		27		28		29	
	30			31		32	33
34							

【答】 カナ2文字のキーワード2つ と

ヨコのカギ

- 人の「犬歯」のことです
- 犬公方と呼ばれた徳川5代将軍
- 犬・猿・キジの昔話...太郎
- ...より証拠
- 両刃の刀剣
- 疲れを知らない男、...ガイ
- プレゼントです
- 1月7日に食べる...草がゆ
- 金貨に銀貨。10円玉は?
- 足の裏のくぼみ、...踏まず
- 分割払いの最初に払うお金
- ベートーベンの交響曲第5番
- 鳥などのオスとメスの一対
- ...くじ。帽子を...かぶり

タテのカギ

- 注意1秒...一生
- バスを...にして団体旅行
- 寄らば大樹の...
- 童謡...のかごやだホイッサー
- サッカーで...カードは退場
- アタッカーにボールを上げます
- 新しい年の挨拶言葉
- 野菜を使った版画、...版
- レコード。日本新...保持者
- 高層ビルが...する大都市
- ...の一声。...は千年
- 刀剣を使った女性の武道の一つ
- 昔話...切りすずめ
- 目の不自由な人を道案内する犬
- 牛や鹿にあって馬や豚にはない
- 少年ネロと犬の物語、...の犬
- ヒョットコの相棒です
- 月の模様、ウサギの...
- 豆腐料理、厚揚げとも言います
- スエズ...。パナマ...
- ラブ、...の結晶
- アニメ、...の名は。
- いんちき。ごまかし。...師
- 「天文学の父」「科学の父」と呼ばれています
- 間違えないように...を付ける
- 旅立ち、出発。人生の...
- 風が吹けば...屋がもうかる
- 王手を続けて攻める...将棋
- テレビ...。五重の...